



# 株主の皆様へ

## 第133期 期末報告書

2010年4月1日から2011年3月31日まで



株式会社 豊田自動織機

TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

(証券コード 6201)

# 株主の皆様へ

## 目次

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 株主の皆様へ              | 1   |
| 連結業績の概況             | 2   |
| 事業別の概況              | 3.4 |
| 東日本大震災の影響と<br>当社の対応 | 5   |
| トピックス               | 6   |
| 連結決算                | 7.8 |
| 連結貸借対照表の概要          | 7   |
| 連結株主資本の変動について       |     |
| 連結損益計算書の概要          | 8   |
| 連結キャッシュ・フロー計算書      |     |
| 株式の状況               | 9   |
| 会社の情報               | 9   |
| 株主メモ                | 10  |

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
このたびの東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された株主の皆様ならびに被災地の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

国内外の景気が回復に向かうなか、当社グループは、品質第一に徹してお客様の信頼におこたえいたしますとともに、各市場の回復の動きに迅速に対応して、販売の拡大に努めてまいりました。しかし、東日本大震災により国内経済は大きな影響を受け、当社におきましても、仕入先の部品供給の問題により、一部の生産停止を余儀なくされました。

当期の売上高につきましては、震災の影響はあったものの、増収増益を達成することができました。こうしたなか、当期の配当につきましては、昨年11月に中間配当金を1株につき25円お支払いいたしました。期末配当金につきましても1株につき25円とし、年間としては前期に比べ20円増加の、1株につき50円とさせていただきます。

今後の経済の見通しにつきましては、景気の回復傾向が続くと見込まれますものの、信用収縮や雇用情勢の悪化などによる景気の下振れのリスクや、原油などの原材料価格の高騰、為替相場の動向などの不透明な要因がございます。また、東日本大震災が経済に与える影響が長期化、深刻化する懸念もあり、企業を取り巻く環境は引き続き厳しいと予想されます。

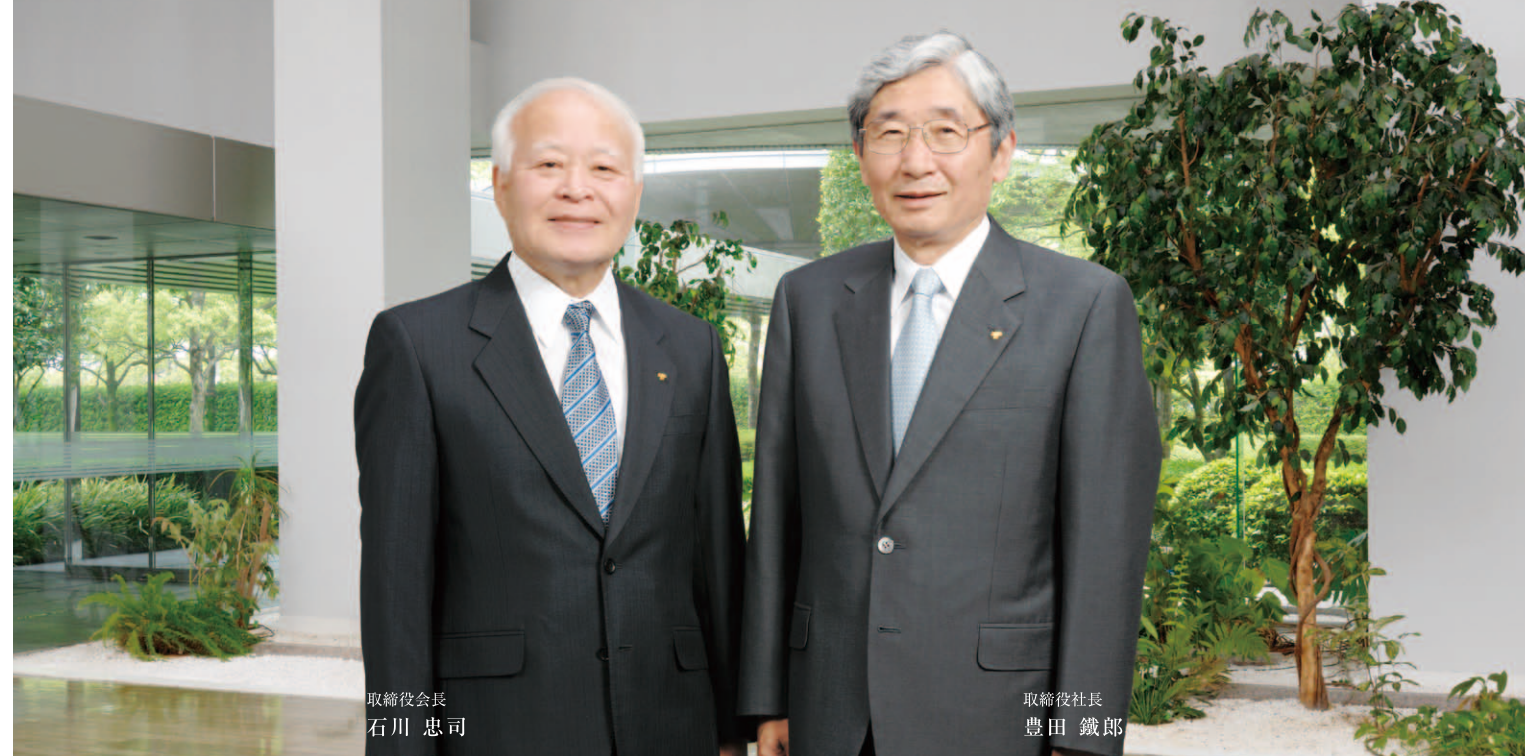
こうしたなか、当社におきましては、震災の影響により低下している生産活動について、柔軟な稼働対応や、仕入先の支援などを通じ、早期の正常化に努めてまいります。併せて、いかなる環境の変化にも速やかに対応できる、ゆるぎない企業体質実現のため、事業構造、コスト構造改革を進めていく所存です。具体的な取り組みとして、先進国を中心とした既存市場での事業を強化し、成長著しい新興国市場への展開を加速させるため、各地域でのきめ細かな市場調査を徹底し、各市場の特性、ニーズに対応した商品の投入を進めていく考えです。

また、中長期的には、品質第一を基本に、環境・安全への対応と国際競争力の向上を重要課題としてとらえ、3E (Environment, Ecology & Energy) をキーワードに、お客様目線に立った商品開発、先進技術開発を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2011年6月

取締役会長 **石川忠司** 取締役社長 **豊田鉄郎**



## 連結業績の概況

当期の経済情勢を概観しますと、世界経済は、中国をはじめとしたアジア各国での経済成長に加え、米国での景気回復や、欧州での持ち直しにより、全体では回復してまいりました。国内におきましては、急激な円高や、景気刺激策の打ち切りなどがあったものの、設備投資、輸出に持ち直しの動きが見られ、緩やかな足取りながら、景気は改善してまいりました。

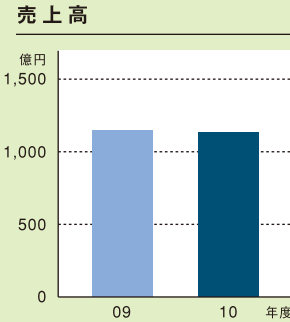
このような状況のなかで、当期の売上高は、前期を1,021億円(7%)上回る1兆4,798億円となりました。利益につきましては、この1年間を通して、原材料の値上がり、為替変動による影響などがありましたものの、売上げの増加に加え、

固定費削減の取り組みを継続したことにより、営業利益は前期を467億円(213%)上回る687億円、経常利益は前期を422億円(133%)上回る739億円となり、当期純利益につきましては、472億円(前期は262億円の損失)となりました。なお、特別損失として、東日本大震災による損失を46億円計上しております。また、1株当たり当期純利益は152円(前期は84円の損失)、1株当たりの純資産は、前期末を90円下回る3,300円となりました。

# 事業別の概況

## 物流

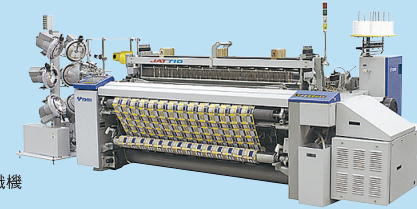
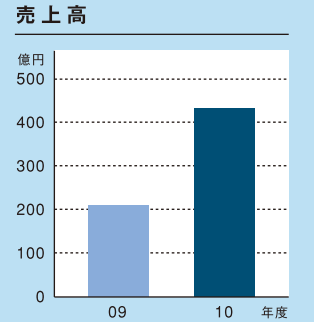
物流部門におきましては、集配金・売上金管理サービス事業や、自動車部品などの運送事業が前期並みに推移し、売上高は1,077億円となりました。



陸上運送サービス

## 繊維機械

繊維機械部門におきましては、主要市場であるアジア地域の景気回復を受け、エアジェット織機、紡機の販売がともに増加したことにより、売上高は前期を219億円（105%）上回る427億円となりました。



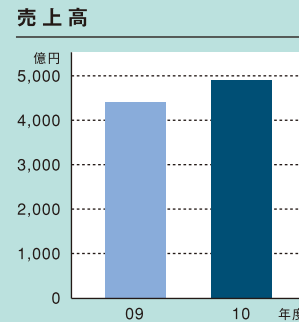
JAT710  
エアジェット織機

## 産業車両

産業車両業界におきましては、アジアを中心とする新興国市場をはじめ、欧州、北米、日本の各市場で、総じて回復傾向が継続しました。そのなかで、当部門は各地域での市場回復に確実に対応する生産・販売活動を強力に推進し、主力のフォークリフトトラックが国内・海外とも増加したことにより、売上高は前期を590億円（14%）上回る4,906億円となりました。



GENEO-B  
カウンタータイプ電動フォークリフト



## 繊維機械 3%

## 物流 7%

## 産業車両 33%

## 売上高 構成比

## 自動車 54%

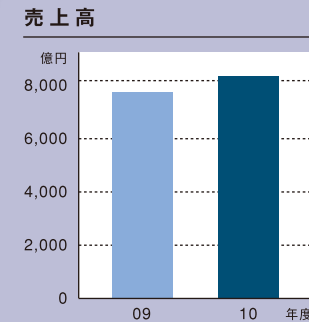
## 自動車

自動車業界におきましては、自動車買い替え支援策の終了により国内市場が落ち込んだものの、北米市場が回復し、アジア市場が拡大してきました。こうしたなかで、当部門の売上高は前期を258億円（3%）上回る8,041億円となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツが増加したものの、RAV4・マークXジオが減少したことにより、売上高は前期を232億円（6%）下回る3,755億円となりました。

エンジンにつきましては、主にKD型ディーゼルエンジンや、AR型ガソリンエンジンが増加したことにより、売上高は前期を323億円（20%）上回る1,973億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、国内で減少したものの、海外で増加したことにより、売上高は前期を148億円（8%）上回る1,918億円となりました。



ヴィッツ



KD型ディーゼルエンジン



トヨタプリウス搭載  
カーエアコン用電動コンプレッサー ES14

# 東日本大震災の影響と当社の対応

東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。  
同震災の当社への影響および対応についてご報告申し上げます。

## 地震発生後の対応

2011年3月11日の地震発生後、当社では直ちに、愛知県刈谷市の本社にある防災センターに震災対策本部を設けました。従業員および家族の安否確認のほか、関係会社やお客様・取引先などの被害状況を確認するとともに、生産対応についての検討を行いました。

## 当社グループへの影響および今後の対応

当社グループにおいて、従業員本人への人的被害および生産設備への被害はありませんでした。しかし、部品調達などの影響により、国内工場では、稼働停止や一部稼働の状態が続きました。

その後、調達が困難な部品の代替品への切替や仕入先の支援などの対応を進め、各工場の稼働を徐々に上げてきました。

今後も引き続き、早期の稼働正常化に向けて全力を注ぐとともに、リスク管理体制の強化をはかっていきます。

## 主な支援活動

### ■ 義捐金の寄付

- 当社グループから義捐金をNPO法人ジャパンプラットフォームなどに寄付

### ■ 募金活動

- 当社役員、従業員および従業員の自主組織である職制会・校友会が、社会福祉法人中央共同募金会などに寄付

### ■ 救援物資の提供

- フォークリフトや小型ショベルなど計16台を被災地へ無償提供
- 飲料水、食料、衛生用品などの生活物資を、地震発生翌日から被災地へ発送



救援物資を搭載する当社グループの大興運輸(株)のトラック

# トピックス

## TOPIC 1

### インドに産業車両の販売会社を設立

2010年12月に、当社は今後の成長が期待されるインド産業車両市場における拡販をねらいに、販売会社「Toyota Material Handling India Pvt. Ltd. (以下TMH India)」を設立しました。TMH Indiaは、デリー本店をはじめ、主要市場に計7拠点を置き、2011年5月から営業を開始しています。



## TOPIC 2

### インドネシアにカーエアコン用コンプレッサーの生産会社を設立

成長するASEAN自動車市場に対応するため、インドネシア共和国に、カーエアコン用コンプレッサーを生産する新会社「P.T. TD Automotive Compressor Indonesia (以下TACI)」を設立しました。TACIは、現P.T. DENSO Indonesiaのコンプレッサー事業を分離する形で同社工場内に設立し、2011年6月より生産を継承しています。

## TOPIC 3

### 新型ヴィッツ生産開始



ヴィッツ

2010年12月に国内向け新型ヴィッツを生産開始、また、2011年8月には、海外向けの新型ヤリス(ヴィッツの海外名)の生産を開始する予定です。当社では、アッパーボディの一部と内装の設計、スポーティグレード「RS」のデザインを行うなど、開発から生産まで一貫して担当しています。

## TOPIC 4

### 第48回技能五輪全国大会「電気溶接」職種で金メダル獲得

2010年10月に神奈川県で開催された第48回技能五輪全国大会に、当社から13選手が6種目に出場し、「電気溶接」では稲木利保選手が金メダルを獲得しました。また、「構造物鉄工」および今大会初参加の「機械製図」においても銅メダルを獲得することができました。



当社は、「ものづくりの基本は人づくり」の考えのもと、今後も次代を担う人材の育成に力を注いでいきます。

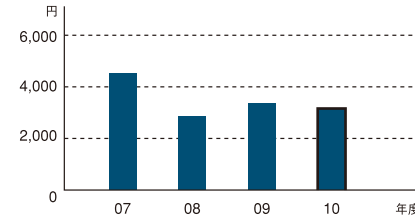
# 連結決算

## ■ 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

|                | 前期末<br>2010年3月31日現在 | 当期末<br>2011年3月31日現在 |
|----------------|---------------------|---------------------|
| <b>資産の部</b>    |                     |                     |
| 流動資産           | 672,801             | <b>670,893</b>      |
| 固定資産           | 1,916,444           | <b>1,810,559</b>    |
| <b>資産合計</b>    | <b>2,589,246</b>    | <b>2,481,452</b>    |
| <b>負債の部</b>    |                     |                     |
| 流動負債           | 434,941             | <b>511,944</b>      |
| 固定負債           | 1,049,375           | <b>893,568</b>      |
| <b>負債合計</b>    | <b>1,484,316</b>    | <b>1,405,512</b>    |
| <b>純資産の部</b>   |                     |                     |
| 株主資本           | 514,601             | <b>547,968</b>      |
| その他の包括利益累計額    | 541,628             | <b>480,248</b>      |
| 新株予約権          | 1,720               | <b>2,132</b>        |
| 少数株主持分         | 46,978              | <b>45,589</b>       |
| <b>純資産合計</b>   | <b>1,104,929</b>    | <b>1,075,939</b>    |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>2,589,246</b>    | <b>2,481,452</b>    |

## 1株当たり純資産

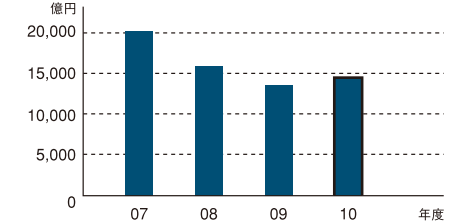


## ■ 連結損益計算書の概要

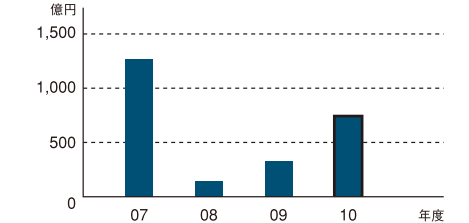
(単位:百万円)

|                 | 前期<br>2009年4月1日から<br>2010年3月31日まで | 当期<br>2010年4月1日から<br>2011年3月31日まで |
|-----------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高             | 1,377,769                         | <b>1,479,839</b>                  |
| 営業利益            | 22,002                            | <b>68,798</b>                     |
| 営業外収益           | 34,395                            | <b>32,044</b>                     |
| 営業外費用           | 24,641                            | <b>26,930</b>                     |
| 経常利益            | 31,756                            | <b>73,911</b>                     |
| 特別損失            | 43,099                            | <b>4,631</b>                      |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △26,273                           | <b>47,205</b>                     |

## 売上高



## 経常利益

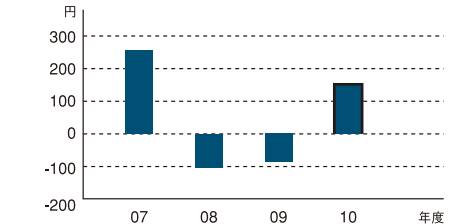


## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

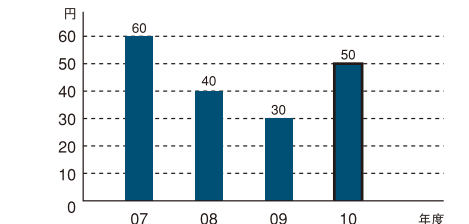
(単位:百万円)

|                     | 前期<br>2009年4月1日から<br>2010年3月31日まで | 当期<br>2010年4月1日から<br>2011年3月31日まで |
|---------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 203,452                           | <b>153,661</b>                    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △36,855                           | <b>△187,574</b>                   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | △38,230                           | <b>△85,728</b>                    |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額    | 1,211                             | <b>△2,382</b>                     |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 129,578                           | <b>△122,024</b>                   |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 188,011                           | <b>317,590</b>                    |
| 現金及び現金同等物の期末残高      | 317,590                           | <b>195,566</b>                    |

## 1株当たり当期純利益



## 1株当たり配当金



## ■ 連結株主資本の変動について

(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

2011年3月末株主資本残高 5,479億円(前期末比 +333億円)

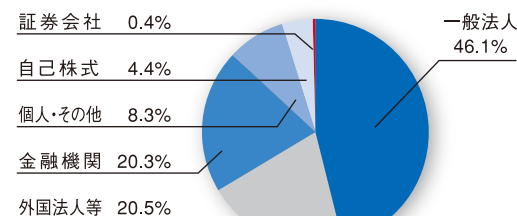
(変動額の主な内訳)

・当期純利益 472億円  
・剰余金の配当 △140億円

# 株式の状況 2011年3月31日現在

|          |                |
|----------|----------------|
| 発行可能株式総数 | 1,100,000,000株 |
| 発行済株式総数  | 325,840,640株   |
| 株主数      | 21,447名        |

## 所有者別株式の状況



## 大株主の状況

| 株主名                       | 持株数(千株) |
|---------------------------|---------|
| トヨタ自動車株式会社                | 76,600  |
| 株式会社デンソー                  | 29,647  |
| 東和不動産株式会社                 | 15,697  |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社〈信託口〉   | 9,873   |
| サード アヴェニュー ヴァリュウ ファンド     | 8,313   |
| 豊田通商株式会社                  | 8,289   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社〈信託口〉 | 7,346   |
| 日本生命保険相互会社                | 6,735   |
| アイシン精機株式会社                | 6,578   |
| 三井住友海上火災保険株式会社            | 5,345   |

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式14,275千株があります。

# 会社の情報

設立 1926年11月18日  
 資本金 804億円(2011年3月31日現在)  
 従業員数 連結40,825名、単独12,856名(2011年3月31日現在)  
 本社所在地 〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 TEL 0566-22-2511(代表)

### 取締役 (2011年6月16日現在)

|        |       |       |        |
|--------|-------|-------|--------|
| 取締役会長  | 伊村 晟  | 専務取締役 | 関森 俊幸  |
| 取締役社長  | 豊田 鐵郎 | 専務取締役 | 山口 千秋  |
| 取締役副社長 | 吉田 和憲 | 専務取締役 | 佐々木 一衛 |
| 取締役副社長 | 豊田 康晴 | 専務取締役 | 森下 洋司  |
| 取締役副社長 | 三矢 金平 | 専務取締役 | 古川 真也  |
| 取締役副社長 | 安形 哲夫 | 専務取締役 | 大西 朗   |
| 専務取締役  | 加藤 正文 | 専務取締役 | 鈴木 雅晴  |
| 専務取締役  | 山田 耕作 | 取締役   | 池永 仍士  |
|        |       | 取締役   | 張 富士夫  |

### 監査役 (2011年6月16日現在)

|       |       |     |             |
|-------|-------|-----|-------------|
| 常勤監査役 | 吉田 成毅 | 監査役 | 渡辺 捷昭       |
| 常勤監査役 | 石川 覚雄 | 監査役 | 三田 敏雄       |
|       |       | 監査役 | ハスユウゲン・マルカス |

### 執行役員 (2011年6月16日現在)

|        |        |      |            |
|--------|--------|------|------------|
| 常務執行役員 | 小川 隆希  | 執行役員 | 山岸 俊哉      |
| 常務執行役員 | 大久保 孝司 | 執行役員 | ジェームス・マルバツ |
| 常務執行役員 | 佐々木 憲夫 | 執行役員 | 原田 淳一      |
| 常務執行役員 | 小河 俊文  | 執行役員 | 岡本 幹彦      |
| 常務執行役員 | 大西 敏文  | 執行役員 | 中野 卓       |
| 常務執行役員 | 野崎 晃平  | 執行役員 | 沢田 保       |
| 執行役員   | 山本 卓   | 執行役員 | 藤原 啓税      |
| 執行役員   | 土本 幸久  | 執行役員 | 村田 康弘      |
| 執行役員   | 大塚 幹   | 執行役員 | 水野 陽二郎     |
| 執行役員   | 浅井 裕章  | 執行役員 | 川口 真広      |
| 執行役員   | 伊藤 天   | 執行役員 | 豊田 晋       |

# 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 6月  
 配当金支払株主確定日 3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 上記連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 TEL 0120-232-711

## 単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(100株未満)については市場で売買できません。ご所有の単元未満株式の売買をお考えの場合は、以下の制度をご利用ください。

- 単元未満株式買取制度 単元未満株式を**当社にご売却**いただくことができます。
- 単元未満株式買増制度 単元株式(100株)にするために、不足分を**当社からご購入**いただくことができます。お手続きの詳細につきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)までお問い合わせください。

## 株式に関するお手続きのお問い合わせ先

株式に関する各種お手続きの窓口につきましては、株主様の株式の所有状況によって異なりますので、ご注意ください。

| ご所有されている株式の口座区分 | お問い合わせ先   |
|-----------------|---|
| 特別口座            | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>TEL 0120-232-711(通話料無料) |
| 証券口座            | 口座を開設されている証券会社※   |

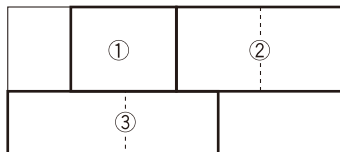
※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。



株式会社 豊田自動織機

〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地  
TEL : 0566-22-2511 (代表) FAX : 0566-27-5650  
ホームページ <http://www.toyota-shokki.co.jp/>

表紙の写真



- ① インドに産業車両の販売会社TMH Indiaを設立
- ② 第48回技能五輪全国大会「電気溶接」職種で  
金メダルを獲得した当社従業員 稲木 利保
- ③ 東日本大震災に対する支援活動



この印刷物は森林保護のため再生紙を使用しています。